

令和5年度総合診療専門医育成ネットワーク事業完了報告書

1. 各医療機関間のネットワークづくり

(1) 総合診療専門医育成ネットワーク世話人会及び意見交換会等の開催

- a. 世話人会 専攻医のフォロー方法等について
  - ・第1回 令和5年 6月3日(土)
  - ・第2回 令和5年10月8日(日)
- b. メール会議 10回 次年度の取り組みについて

2. 総合診療医育成のためのプログラム作成・指導體制の整備支援

(1) 総合診療専門医育成プログラムの整備状況

令和5年度時点で下記の育成プログラムが整備され32名が研修中である。

■総合診療専門研修プログラム・・・12プログラム

- ・松江生協病院総合診療専門医研修プログラム
- ・島根大学病院・大田市立病院総合診療専門医コース研修プログラム
- ・島根県立中央病院総合診療専門研修プログラム
- ・出雲市民病院・出雲家庭医療学センター総合診療専門研修プログラム
- ・雲南市立病院総合診療専門研修プログラム
- ・総合診療専門研修 仁寿・川本あいあいプログラム
- ・島根県済生会江津総合病院総合診療専門プログラム
- ・浜田市地域包括ケア総合診療専門医コース
- ・津和野共存病院総合診療専門研修プログラム
- ・出雲徳洲会病院総診プログラム
- ・松江赤十字病院 総合診療専門研修プログラム
- ・益田赤十字病院 総合診療専門研修プログラム

3. 総合診療専門医等の研修と養成

(1) 「しまね総合診療の集い」の実施

■第1回

【日時】令和5年6月3日(土) 13:30～17:30

【場所】島根大学医学部附属病院 みらい棟 4F ギャラクシー

【参加者】57名(対面37名、web20名)

【概要】第1部は、上村祐介・上野伸行先生が「地域志向のアプローチって何だろう？」をテーマに担当された。まず、事前レクチャーと症例提示が行われた。その後グループワークで症例の問題点に対して、どのようなアプローチが必要か、ディスカッションが行われた。地域志向性プライマリ・ケアを学び、グループワークを通して「地域をみるとは何か」を深めることが出来た。

第2部は「指導医による明日から使えるパール」をテーマに5名の先生方（加藤一郎・岡本栄祐・樋口大・木島庸貴・高橋賢史先生）に、総合診療医として奏功した症例を発表して頂いた。

■第2回 隠岐病院主催「オキフェス2023」参加者への参加旅費支援

【日時】令和5年8月11日（金）～12日（土）

【場所】島根県隠岐郡隠岐の島町中村地区

【参加者】58名（うち研修医1名、医学生1名の参加旅費支援を行った）

【概要】・隠岐病院見学

・フィールドワーク学習・学習発表・ディスカッション

・基調講演『離島から世界へ』／藤谷茂樹医師

・海辺の実習

海辺での釣針除去・対処法／坂本壮医師

船上での講義／白石吉彦医師、

海洋生物の生態や毒／小川将也医師

・離島医療のロールプレイング・まとめ

■第3回「総合診療医ブラッシュアップセミナー」

【日時】令和5年10月8日（日）13:30～17:30

【場所】島根大学医学部附属病院 みらい棟 4F ギャラクシー

【参加者】26名（対面23名、web3名）

【概要】筑波大学の前野哲博先生に「医療者に求められるノンテクニカルスキル」をテーマとしてご講義をいただいた。

第1部の「問題解決のための技法」では、問題解決の基本ステップや、ロジカル思考を使用したアプローチ方法をグループワークで行い、医療以外の事例（ラーメン屋さん繁盛させるための解決策）を通して勉強した。

第2部の「コンフリクトマネジメント」では自己主張性を縦軸、協調性を横軸として、協働・説得・順応・妥協・回避という5つの対応モードがあることを学んだ。自分に合った対応モードに加えて普段使用しない対応モードについてもグループワークを通して学ぶことが出来た。

■第4回

【日時】令和5年12月10日（日）13:00～17:30

【場所】島根大学医学部ゼブラ棟2階 だんだんカンファレンス

【参加者】39名（対面26名、Web13名）

【概要】第1部は、医学科4年生の学生がポートフォリオの発表を行った。慢性疾患から生じる苦悩に対して、医師の役割は「持続する関心と寄り添うこと、家庭医そのものの存在が治療になることを学んだ」と報告があった。

第2部は、島田直英先生、村上航太郎先生、青木光先生、根本卓也先生が、自身が成功した症例及び専攻医が悩みがちな症例等を報告頂き、有意義なディスカッションが行われた。

第3部は、飯島慶郎先生にお話し頂いた。先生は、「不定愁訴で苦しむ人は沢山いる。往々にして身体的疾患が見過ごされ深刻な問題となるので、『総合診療専門医・家庭医』の視点が必要になってくる」と力説された。

■第5回 「総合診療合宿」参加者への参加旅費支援

【日 時】令和6年2月23日（金）～2月24日（土）

【場 所】かなぎウェスタンライディングパーク

【参加者】25名（うち医学生3名について参加旅費支援を行った）

【概 要】合宿形式の研修・ディスカッションを通し、「総合診療の卒前・卒後教育」についてのニーズ把握および総合診療医の実務についての理解を深めるとともに総合診療医同士の交流を深めることができた

- ・若手医師による「それぞれの1日と総合診療のやりがい」レクチャー
- ・「総合診療の卒前・卒後教育について」のディスカッション
- ・指導医による「総合診療レクチャー」

(2) 全国セミナーへの参加（学生の学会等参加旅費支援）

【日 時】令和5年5月13日（土）～5月14日（日）

【場 所】ポートメッセ名古屋

【件 名】第14回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

【参加者】医学生5名（4年2名、3年3名）

【内 容】ポスター発表（へき地医療に関する学生活動の紹介他）・質疑応答

(3) BLS（1次救命処置）講習会の実施

■院内 BLS 講習会→成人の一次救命処置（胸骨圧迫・AED）の指導

区分	実施日	受講者（人）
医療従事者	4月10日（月）	70
	6月8日（木）	100
	8月10日（木）	92
	10月12日（木）	87
	12月14日（木）	98
	2月8日（木）	84
	合計	531
区分	実施日	受講者（人）
事務職員	5月16日（火）	105
	7月18日（火）	89
	9月19日（火）	69
	11月21日（火）	22
	合計	285

■アメリカ心臓協会 BLS 講習会

【概要】アメリカ心臓協会 HeartCode®BLS は、オンライン学習パートを修了後、会場での短時間スキルパートを受講することで、プロバイダーカードの取得ができるコロナ禍における新しい生活様式に沿った次世代型の BLS コースである。

- ・ B L S (Basic Life Support) →成人・小児・乳児の一次救命処置の指導
- ・ A C L S (Advanced Cardiovascular Life Support)  
→成人の二次救命処置(成人の薬剤投与等)の指導
- ・ P A L S (Pediatric Advanced Life Support) →乳児の二次救命処置の指導

コース	区分	実施日	受講者(人)
講習会	BLS	5月20日(土)	8
		7月22日(土)	8
		9月23日(土)	13
		11月11日(土)	14
		11月12日(日)	11
		合計	54
	ACLS	11月11日(土)～ 11月12日(日)	10
	PALS	11月11日(土)～ 11月12日(日)	5
指導者養成 コース	BLS	11月11日(土)	3
	ACLS	11月11日(土)	3

4. 医療機関・医師会・行政等と連携した総合診療医についての普及啓発

(1)しまね地域医療センターとの連携

- ・第1回しまね専門研修プログラムWeb説明会 令和5年7月10日(月)～14日(金)
- ・第2回しまね専門研修プログラムWeb説明会 令和5年9月25日(月)～29日(金)

(2)大学との連携

■大学院コース等の支援

博士課程：①研究者育成コース (昼夜開講制)

②総合診療・地域医療コース (昼夜開講制)

その他：島根大学病院・大田市立病院総合診療専門医コース

(3) 医療機関との連携

総合診療科に関する医療機関担当者等との打ち合わせ(20件)

(4) 総合診療科に関しての論文作成(論文投稿6件、英文校正34件)

以上